

農薬のお話

～そして害虫発生生態との関連について～

諫山 真二 氏

(住友化学(株) アグロ事業部)

日時：2011年6月16日(木) 16:30頃～18:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0411 教室

現代の増え続ける人口を支えるためにも大幅な食料増産は世界規模で急務な課題です。しかし、限られた耕地面積や水資源そして大きな気象変動などの悪条件の中で食料増産を図ることは並はずれた努力と優れた技術の導入が不可欠だと考えます。農薬は、今後の食料増産を支える大切な技術の一つであることには間違いのないと思います。しかしながら、「農薬」という言葉から想像されるイメージは世間一般ではどうでしょうか？その一方で、農薬がどのように研究開発され、世の中でどのようにして送り出されているのか？ご存知でしょうか？

農薬は多くの科学技術を用いて世に送り出されてきたものであり、その活用にも多岐にわたる科学知識と科学的根拠が必要とされます。本講演では農薬の一般的なお話からその研究開発状況、実際の害虫防除はどのようなことが科学的に調査され、対応されているのかについて、ひとつの事例もまじえてご紹介したいと思います。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享

(5号館 208、内線 7810)